

令和元年度 福祉のまちづくり研究所企画運営委員会 【事後評価】

No.	研究課題名	コメント
1	車椅子使用者の坂路環境及び活動量の評価と、 バリアに対応した車椅子機構に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の目標を十分達成し、製品開発につながった点は、高く評価できる ・ユニバーサル社会において多機能化する「車椅子」の安全性向上は重要な課題であり、この課題に対し「車椅子」の機械的特性に加えて「ひと」「環境」の社会的見地から検討・開発に取り組む手法は先駆的な取組として評価できる ・実用化を考えた時、市販の地図などとの連携をどう実現するのか、研究課題もおおい ・当該分野の既存の技術等との関連性にも言及し、客観的な観点から当該研究の社会的位置づけを明確にしておくことが望まれる ・商品化まで進めてほしい